



東京堂書店 × 交通新聞社 散歩の達人
「散歩本を散歩する」フェア記念

池内紀さん × 坂崎重盛さん トークイベント

散歩本と歩く東京

- 開催日時● 2017年**10月13日(金)** **19時**開演 (開場18時30分)
- 開催場所● 東京堂書店 神田神保町店6階 東京堂ホール
- 参加費● **500円** (要予約)
- 参加方法● 東京堂書店店頭または電話 [03-3291-5181]、東京堂書店HP (専用応募フォーム) にてお申し込みください。

多彩なジャンルの「散歩本」を手引きに街を歩くエッセイ『散歩本を散歩する』(交通新聞社刊)の著者・池内紀さんと、この本で「散歩本」の一つとなった『東京煮込み横丁評判記』の著者・坂崎重盛さん。無類の東京好き・散歩好き、そして読書好きであるお二人に、「散歩本」の読み方・歩き方を語っていただきます。

「散歩本」として書かれていないのに、「散歩本」として読むとおもしろい本。古典的すぎるが、いま読み直したい本。裏町の妖しい歴史が垣間見られる本。ネット情報は使わない、過去と現在を行き来する重層的な散歩の楽しみとは。



【登壇者プロフィール】

池内紀 いけうち・おさむ

1940年、兵庫県姫路市生まれ。ドイツ文学者・エッセイスト。主な著書に『海山のあいだ』、『二列目の人生』、『亡き人へのレクイエム』、『恩地孝四郎 一つの伝記』など。編注に森鷗外『棕鳥通信』(上・中・下)、訳書に『カフカ小説全集』、『ファウスト』、アメリカ『罪と罰の彼岸』など。大好きな山や町歩き、自然にまつわる本も、『きょうもまた好奇心散歩』、『日本の森を歩く』、『ニッポン周遊記』など多数。近者に『すごいトシヨリBOOK トシをとると楽しみがふえる』、『開く文豪とナチス・ドイツ トーマス・マンの亡命日記』など。



坂崎重盛 さかざき・しげもり

1942年、東京墨田区生まれ。千葉大学で造園学と風景計画を専攻、横浜市計画局に勤務。退職後、編集者・エッセイストに。昨今テレビの居酒屋散歩番組で「不良隠居」などと称せられているが、もともと路地横丁の散歩好き。『東京煮込み横丁評判記』、『東京本遊覧記』、『ぼくのおかしなおかしなステッキ生活』、『粹人粹筆探訪』、『絵のある』岩波文庫への招待』など、東京の町々や、本・読書に関する著書多数。また、隅田川関連錦絵、明治風景石版画、東西ステッキなどのコレクター。俳号は「露骨」。



撮影=佐々木孝憲

表題の『散歩本を散歩する』フェアは10/7~11/5開催です。合わせてお楽しみくださいませ。